

令和元年度 前期学校評価 総括表

西尾市立一色南部小学校
令和元年 7月実施

項目	目標	対象	質問内容																				
信頼される学校づくり	保護者、地域に開かれた学校	保護者	通信などを通して学校や学級の指導方針がよく分かる																				
		児童	先生の話聞いて、自分が何をやらなければならないかがわかる																				
		教職員	通信などを通して指導方針(学級経営方針も含む)を説明するよう心がけている																				
	1	<p>■ A:よく当てはまる ■ B:やや当てはまる ■ C:あまり当てはまらない ■ D:まったく当てはまらない</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>25.8%</td> <td>58.2%</td> <td>14.4%</td> <td>1.5%</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>31.4%</td> <td>49.0%</td> <td>16.2%</td> <td>3.3%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>23.1%</td> <td>53.8%</td> <td>15.4%</td> <td>7.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【1】 「よく当てはまる」「やや当てはまる」を合わせると三者とも比較的高い傾向にあるが、教職員が指導方針を伝えられるよう、もっと努力していく必要がある。</p>			対象	A	B	C	D	保護者	25.8%	58.2%	14.4%	1.5%	児童	31.4%	49.0%	16.2%	3.3%	教職員	23.1%	53.8%	15.4%
対象	A	B	C	D																			
保護者	25.8%	58.2%	14.4%	1.5%																			
児童	31.4%	49.0%	16.2%	3.3%																			
教職員	23.1%	53.8%	15.4%	7.7%																			
かんがえる	学びの価値づけ	保護者	お子さんは、自分の目標に向かって努力し、通知表ファイル等で振り返り、次に生かしている																				
		児童	授業や行事の振り返りから、目標を決め、その結果を次につなげて生かしている																				
		教職員	指導と評価の一体化を図った朱書きを入れ、意欲を引き出している																				
	2	<p>■ A:よく当てはまる ■ B:やや当てはまる ■ C:あまり当てはまらない ■ D:まったく当てはまらない</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>13.4%</td> <td>28.9%</td> <td>42.8%</td> <td>14.9%</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>22.0%</td> <td>45.0%</td> <td>25.4%</td> <td>7.7%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>25.0%</td> <td>58.3%</td> <td>0.0%</td> <td>16.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【2】 教職員はできていると感じている割合が比較的高く、特に保護者との意識にずれがある。また、教職員が「まったく当てはまらない」と回答している割合が高いのも見過ごせない。子どもたちがさらに前向きに取り組み、保護者へも伝わるよう改善を図っていく必要がある。</p>			対象	A	B	C	D	保護者	13.4%	28.9%	42.8%	14.9%	児童	22.0%	45.0%	25.4%	7.7%	教職員	25.0%	58.3%	0.0%
対象	A	B	C	D																			
保護者	13.4%	28.9%	42.8%	14.9%																			
児童	22.0%	45.0%	25.4%	7.7%																			
教職員	25.0%	58.3%	0.0%	16.7%																			
かんがえる	基礎学力の定着	保護者	お子さんは習ったことを繰り返し学習している																				
		児童	毎日の授業で学習したことをきちんと復習している																				
		教職員	語彙を増やし読解力をつける工夫をしている																				
	3	<p>■ A:よく当てはまる ■ B:やや当てはまる ■ C:あまり当てはまらない ■ D:まったく当てはまらない</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>9.3%</td> <td>36.6%</td> <td>39.7%</td> <td>14.4%</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>29.5%</td> <td>35.7%</td> <td>26.2%</td> <td>8.6%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>30.8%</td> <td>61.5%</td> <td>7.7%</td> <td>0.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【3】 【2】と同じく教職員はできていると感じている割合が比較的高く、保護者との意識に大きな差がある。本校が目指している学びの姿をさらに保護者や子どもたちに示していけるよう、改善を図っていく必要がある。</p>			対象	A	B	C	D	保護者	9.3%	36.6%	39.7%	14.4%	児童	29.5%	35.7%	26.2%	8.6%	教職員	30.8%	61.5%	7.7%
対象	A	B	C	D																			
保護者	9.3%	36.6%	39.7%	14.4%																			
児童	29.5%	35.7%	26.2%	8.6%																			
教職員	30.8%	61.5%	7.7%	0.0%																			
かんがえる	問題解決的な授業づくり	保護者	お子さんは、自ら進んで学習したり考えを伝えたりしようとしている																				
		児童	授業の中で自分の考えを進んで発表したり、問題を自分で解決したりしている																				
		教職員	子どものやる気を引き出し、自ら考え学ぼうとする授業づくりに取り組んでいる																				
	4	<p>■ A:よく当てはまる ■ B:やや当てはまる ■ C:あまり当てはまらない ■ D:まったく当てはまらない</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>14.7%</td> <td>37.9%</td> <td>37.9%</td> <td>9.5%</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>26.7%</td> <td>40.0%</td> <td>26.7%</td> <td>6.7%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>42.9%</td> <td>50.0%</td> <td>7.1%</td> <td>0.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【4】 【2】【3】と同じく教職員はできていると感じている割合が比較的高く、保護者・児童との意識の差は大きい。新学習指導要領の示す「主体的・対話的で深い学び」につながる項目でもあり、児童の意欲を引き出すさらなる工夫と児童の取り組み方のよさなど過程を保護者に伝えていく必要がある。</p>			対象	A	B	C	D	保護者	14.7%	37.9%	37.9%	9.5%	児童	26.7%	40.0%	26.7%	6.7%	教職員	42.9%	50.0%	7.1%
対象	A	B	C	D																			
保護者	14.7%	37.9%	37.9%	9.5%																			
児童	26.7%	40.0%	26.7%	6.7%																			
教職員	42.9%	50.0%	7.1%	0.0%																			

令和元年度 前期学校評価 総括表

西尾市立一色南部小学校
令和元年 7月実施

きたえる	5	共感する心の育成	保護者	お子さんは、お家で友だちのよいところをよく話す																		
			児童	授業の中で、友だちのよさに気づき、認めたり自分の考えに取り入れたりしている																		
			教職員	話し合い活動の中で、互いのよさを評価し、認め合う場を設定している																		
		<p>■ A:よく当てはまる ■ B:やや当てはまる ■ C:あまり当てはまらない ■ D:まったく当てはまらない</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>17.9%</td> <td>47.7%</td> <td>31.3%</td> <td>3.1%</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>30.3%</td> <td>40.4%</td> <td>16.8%</td> <td>12.5%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>15.4%</td> <td>61.5%</td> <td>23.1%</td> <td>0.0%</td> </tr> </tbody> </table>		対象	A	B	C	D	保護者	17.9%	47.7%	31.3%	3.1%	児童	30.3%	40.4%	16.8%	12.5%	教職員	15.4%	61.5%	23.1%
対象	A	B	C	D																		
保護者	17.9%	47.7%	31.3%	3.1%																		
児童	30.3%	40.4%	16.8%	12.5%																		
教職員	15.4%	61.5%	23.1%	0.0%																		
きたえる	6	信頼を基調とした集団づくり	保護者	お子さんは、お家で自分のよいところや得意なことを話す																		
			児童	自分にはよいところや頼りにされているところがある																		
			教職員	自己肯定感、自己有用感を高める工夫をしている																		
		<p>■ A:よく当てはまる ■ B:やや当てはまる ■ C:あまり当てはまらない ■ D:まったく当てはまらない</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>30.3%</td> <td>43.1%</td> <td>24.6%</td> <td>2.1%</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>18.7%</td> <td>33.5%</td> <td>29.2%</td> <td>18.7%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>14.3%</td> <td>78.6%</td> <td>7.1%</td> <td>0.0%</td> </tr> </tbody> </table>		対象	A	B	C	D	保護者	30.3%	43.1%	24.6%	2.1%	児童	18.7%	33.5%	29.2%	18.7%	教職員	14.3%	78.6%	7.1%
対象	A	B	C	D																		
保護者	30.3%	43.1%	24.6%	2.1%																		
児童	18.7%	33.5%	29.2%	18.7%																		
教職員	14.3%	78.6%	7.1%	0.0%																		
きたえる	7	子どもの自主活動の活性化	保護者	お子さんは、お家で進んで挨拶や手伝いをしたり、いろいろな行事活動に参加したりしている																		
			児童	進んであいさつしたり、自分で考えながら学級の仕事に取り組んだりしている																		
			教職員	子どもたちが主体的に活動したり、企画・運営したりできる場の工夫をしている																		
		<p>■ A:よく当てはまる ■ B:やや当てはまる ■ C:あまり当てはまらない ■ D:まったく当てはまらない</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>17.9%</td> <td>48.7%</td> <td>28.7%</td> <td>4.6%</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>38.6%</td> <td>32.4%</td> <td>19.0%</td> <td>10.0%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>15.4%</td> <td>69.2%</td> <td>15.4%</td> <td>0.0%</td> </tr> </tbody> </table>		対象	A	B	C	D	保護者	17.9%	48.7%	28.7%	4.6%	児童	38.6%	32.4%	19.0%	10.0%	教職員	15.4%	69.2%	15.4%
対象	A	B	C	D																		
保護者	17.9%	48.7%	28.7%	4.6%																		
児童	38.6%	32.4%	19.0%	10.0%																		
教職員	15.4%	69.2%	15.4%	0.0%																		
きたえる	8	笑顔で通える学校	保護者	お子さんは、友だちと進んで仲良くしながら、楽しく学校に通えている																		
			児童	誰に対しても、いつもやさしいことばをかけたたり接したりしながら、楽しく学校へ通えている																		
			教職員	子どもの様子の変化をとらえ、互いに尊重し合い、いじめのない学級づくりを進めている																		
		<p>■ A:よく当てはまる ■ B:やや当てはまる ■ C:あまり当てはまらない ■ D:まったく当てはまらない</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>55.2%</td> <td>36.1%</td> <td>6.7%</td> <td>2.1%</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>33.3%</td> <td>42.4%</td> <td>19.0%</td> <td>5.2%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>58.3%</td> <td>25.0%</td> <td>8.3%</td> <td>8.3%</td> </tr> </tbody> </table>		対象	A	B	C	D	保護者	55.2%	36.1%	6.7%	2.1%	児童	33.3%	42.4%	19.0%	5.2%	教職員	58.3%	25.0%	8.3%
対象	A	B	C	D																		
保護者	55.2%	36.1%	6.7%	2.1%																		
児童	33.3%	42.4%	19.0%	5.2%																		
教職員	58.3%	25.0%	8.3%	8.3%																		

令和元年度 前期学校評価 総括表

西尾市立一色南部小学校
令和元年 7月実施

たすけあう	9	体力の向上	保護者	お子さんは、業前マラソンに目標をもって取り組んでいる																		
		児童	自分は、業前マラソンに目標をもって取り組んでいる																			
		教職員	目標をもって業前マラソンに取り組めるような声かけや工夫ができています																			
		<p style="text-align: center;">■ A:よく当てはまる ■ B:やや当てはまる ■ C:あまり当てはまらない ■ D:まったく当てはまらない</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>A:よく当てはまる</th> <th>B:やや当てはまる</th> <th>C:あまり当てはまらない</th> <th>D:まったく当てはまらない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>27.3%</td> <td>35.6%</td> <td>32.5%</td> <td>4.6%</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>51.0%</td> <td>21.0%</td> <td>19.5%</td> <td>8.6%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>25.0%</td> <td>50.0%</td> <td>16.7%</td> <td>8.3%</td> </tr> </tbody> </table>			対象	A:よく当てはまる	B:やや当てはまる	C:あまり当てはまらない	D:まったく当てはまらない	保護者	27.3%	35.6%	32.5%	4.6%	児童	51.0%	21.0%	19.5%	8.6%	教職員	25.0%	50.0%
対象	A:よく当てはまる	B:やや当てはまる	C:あまり当てはまらない	D:まったく当てはまらない																		
保護者	27.3%	35.6%	32.5%	4.6%																		
児童	51.0%	21.0%	19.5%	8.6%																		
教職員	25.0%	50.0%	16.7%	8.3%																		
<p>【9】 本校を代表する取り組みである業前マラソンへの評価としては、全体的に低い。特に教職員の「まったく当てはまらない」の8.3%は見逃せない。まずは教職員の意識改革をし、取り組んでいきたい。</p>																						
10	生活リズムの調整	保護者	「親子げんきっ子カード」を、お子さんといっしょに取り組んでいる																			
	児童	自分は、「親子げんきっ子カード」に真剣に取り組んでいる																				
	教職員	「親子げんきっ子カード」をもとに、健康な生活リズムを心がける声かけや工夫ができています																				
	<p style="text-align: center;">■ A:よく当てはまる ■ B:やや当てはまる ■ C:あまり当てはまらない ■ D:まったく当てはまらない</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>A:よく当てはまる</th> <th>B:やや当てはまる</th> <th>C:あまり当てはまらない</th> <th>D:まったく当てはまらない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>41.1%</td> <td>42.7%</td> <td>11.5%</td> <td>4.7%</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>51.0%</td> <td>28.4%</td> <td>19.2%</td> <td>1.4%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>15.4%</td> <td>53.8%</td> <td>23.1%</td> <td>7.7%</td> </tr> </tbody> </table>			対象	A:よく当てはまる	B:やや当てはまる	C:あまり当てはまらない	D:まったく当てはまらない	保護者	41.1%	42.7%	11.5%	4.7%	児童	51.0%	28.4%	19.2%	1.4%	教職員	15.4%	53.8%	23.1%
対象	A:よく当てはまる	B:やや当てはまる	C:あまり当てはまらない	D:まったく当てはまらない																		
保護者	41.1%	42.7%	11.5%	4.7%																		
児童	51.0%	28.4%	19.2%	1.4%																		
教職員	15.4%	53.8%	23.1%	7.7%																		
<p>【10】 三者の中で「よく当てはまる」「やや当てはまる」と回答した割合が、教職員がもっとも低い。また、「まったく当てはまらない」とした者も7.7%おり、改善すべき点である。本校の目指す「健康五輪のわ」を具現化するためにも、高い意識をもって取り組んでいきたい。</p>																						
11	食生活の定着	保護者	お子さんは、お家でも好き嫌いなく、バランスのとれた食習慣ができています																			
	児童	給食や家での食事で、好き嫌いなく、バランスよく食べることができています																				
	教職員	給食指導や弁当の日を通して、バランスのとれた食習慣が意識できるような指導を行っている																				
	<p style="text-align: center;">■ A:よく当てはまる ■ B:やや当てはまる ■ C:あまり当てはまらない ■ D:まったく当てはまらない</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>A:よく当てはまる</th> <th>B:やや当てはまる</th> <th>C:あまり当てはまらない</th> <th>D:まったく当てはまらない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>24.4%</td> <td>36.3%</td> <td>33.2%</td> <td>6.2%</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>32.9%</td> <td>32.9%</td> <td>23.8%</td> <td>10.5%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>23.1%</td> <td>61.5%</td> <td>7.7%</td> <td>7.7%</td> </tr> </tbody> </table>			対象	A:よく当てはまる	B:やや当てはまる	C:あまり当てはまらない	D:まったく当てはまらない	保護者	24.4%	36.3%	33.2%	6.2%	児童	32.9%	32.9%	23.8%	10.5%	教職員	23.1%	61.5%	7.7%
対象	A:よく当てはまる	B:やや当てはまる	C:あまり当てはまらない	D:まったく当てはまらない																		
保護者	24.4%	36.3%	33.2%	6.2%																		
児童	32.9%	32.9%	23.8%	10.5%																		
教職員	23.1%	61.5%	7.7%	7.7%																		
<p>【11】 児童・保護者の割合が低い傾向にある。両者の割合が少しでも高くなるよう、学校からの継続的な声かけ等を通じていく必要がある。また、3者とも「まったく当てはまらない」が1割程度いるので、今後改善を図っていきたい。</p>																						
12	生命の尊重	保護者	お子さんは、交通安全に気をつけて登下校したり、自転車に乗ったりしている																			
	児童	交通安全に気をつけ、登下校したり自転車に乗ったりしている																				
	教職員	危機管理マニュアルをもとに、様々な災害に対し、状況に応じた的確な判断や行動をとるよう指導している																				
	<p style="text-align: center;">■ A:よく当てはまる ■ B:やや当てはまる ■ C:あまり当てはまらない ■ D:まったく当てはまらない</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>A:よく当てはまる</th> <th>B:やや当てはまる</th> <th>C:あまり当てはまらない</th> <th>D:まったく当てはまらない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>39.7%</td> <td>51.5%</td> <td>8.2%</td> <td>0.5%</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>66.7%</td> <td>23.8%</td> <td>7.1%</td> <td>2.4%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>16.7%</td> <td>50.0%</td> <td>25.0%</td> <td>8.3%</td> </tr> </tbody> </table>			対象	A:よく当てはまる	B:やや当てはまる	C:あまり当てはまらない	D:まったく当てはまらない	保護者	39.7%	51.5%	8.2%	0.5%	児童	66.7%	23.8%	7.1%	2.4%	教職員	16.7%	50.0%	25.0%
対象	A:よく当てはまる	B:やや当てはまる	C:あまり当てはまらない	D:まったく当てはまらない																		
保護者	39.7%	51.5%	8.2%	0.5%																		
児童	66.7%	23.8%	7.1%	2.4%																		
教職員	16.7%	50.0%	25.0%	8.3%																		
<p>【12】 保護者・児童とも交通安全に対する意識は高くなっている。「よく当てはまる」と回答した児童は7割近くいて、交通安全に気をつけていると自信を持っている。ただ、保護者は4割程度にとどまっており、意識の差がある。教職員は交通安全だけでなく、危機管理マニュアルのしっかりした運用をしつつ、避難訓練をはじめとする防災意識を高めていきたい。</p>																						

令和元年度 前期学校評価アンケート（保護者の声）

*通知表ファイルを持ち帰った際に、がんばったことを話したりしますが、ファイルに保管しているだけで、活用目的がよく分かりません。

→ 通知表ファイルを導入して2年目となります。ファイルに綴ってあるお子様の記録等をもとに、家族共通の話題にさせていただき、今後の学校生活が前向きに過ごせるように言葉がけをお願いします。

*ブログで学校の様子が分かるので、家で内容を話題にしたりします。もう少し写真の数が多いと様子がわかっていいのかなと思います。

→ 現在は1週間に1回を目安としてブログの更新をしております。できるだけ様子がわかりやすい写真を厳選していきたいと思っております。

*朝、登校時に通学団の子どもたちに「おはようございます」とあいさつしても返事が返ってこないのが残念です。高学年のお兄さん・お姉さんがあいさつしてくれると低学年の子もあいさつしてくれるようになると思うので、カッコいい姿を見せてほしいです。

→ 子どもたちのあいさつについては、常に状況を把握するとともに、大きな声で取り組めるように指導を続けております。今後も地域の中での子どもたちの様子を教えていただけますようお願いいたします。

*2年生の6時間授業ですが、休み明けの月曜日ではなく、他の曜日に変更は出来ないのでしょうか。初めての6時間で休み明けだと慣らすのが大変だと思います。

→ 科任の授業等で曜日が限定されていたり、特別教室の割り当て曜日が指定されていたりして、やむを得ない場合もあります。意見を参考にして、次年度以降検討したいと思っております。

*業前マラソンのタイムトライアルウィークはもう少し保護者にアピールして、来られる人が応援になるとよいと思います。私は行くようにしているのですが、見られると子どもたちもはりきってくれるので楽しいです。

→ 業前マラソンへの取り組みに対するご理解・ご支援、本当にありがとうございます。今後、ブログや学年だより等で様子を知らせていきたいと思っております。

*業前マラソンのエンジョイウィークとして遊びの要素も取り入れていると聞き、楽しみにしているのですが、マラソンを前向きに走るきっかけにもなっています。

→ 本年度よりエンジョイウィークの取り組みを始めております。子どもたちが少しでも前向きに走ることができるよう支援をしていきたいと思っております。

*漢字の宿題を増やしてほしいです。授業が聞けてなく覚えてないので家でやるしかないのです。

→ 家庭学習につきましては、担任がその学級の実態に合わせて設定しております。内容・量につきましては、保護者会等でご相談ください。

*暑さ対策をしっかりお願いします。終業式や始業式にもTシャツを許可してください。

*エアコンの設置を早くしてほしいです。

→ 本年度中にはエアコンの設置が行われる予定です。エアコンが設置された後も熱中症予防の対策については引き続き取り組んでまいります。暑さが厳しい夏の時期には、始業式・始業式についてもTシャツの着用を認めています。

*下校時刻や用意が必要な持ち物の連絡をもう少し早めにしてもらえるといいなと思います。努力賞の対策プリントの始まりももう少し早いとうれしいです。

→ 少しでも早く正確な情報を提供できるよう配慮していきたいと思います。よろしくお願いします。

*2年生で取り組んでいる「作文ノート」、ぜひ続けてください。記述能力が伸びるのではないかと期待しています。

→ 多くの学年で日記を中心にした作文指導を行うとともに、4年生以上では「作文の友」の教材を購入し、活用を進めています。子どもたちの語彙力・表現力が少しでものびるよう、今後も指導をしていきたいと思います。

*保護者会で1学期の様子を「よい点」「がんばる点」と、わかりやすく教えていただいてありがたかったです。

→ 今後も学校と家庭がしっかり連携して、子どもたちの成長につながるよう取り組んでいきたいと思っております。

*さざなみオリンピックなど、他の学年と交わる行事があるのは素敵だと思います。ほぼ学年1クラスしかないので、せっかくなら学校全体がみんな知り合いになってくれると校外で会っても心強いです。

→ 本校は215名の小規模であります。小規模校の良さを生かし、行事等に縦割り活動を入れるなど工夫をこらして取り組んでいきたいと思っております。ご協力をお願いします。

*お忙しい先生たち、いつも感謝しております。これからも子どもたち、地域の人たち、いろいろな人たちのどんな小さな意見にも耳をかたむける心の余裕が学校にあるといいなと思います。学校にいろいろな人の意見が聞ける意見箱を置くといいのかなと思います。

→ この学校評価アンケートを含め、授業参観ごとの保護者アンケート、PTAの役員会・常任委員会、学校関係者評価委員会など、学校の取り組みに対し、ご意見をいただく機会を設けております。また、そういった機会でなくても気になる点がありましたら、遠慮なく学校の方にお知らせいただければと思います。

*私が小学生だった時、お手伝いカードがありました。学校からもお手伝いカードのような宿題があれば、毎日率先して取り組めるかと思います。家族と協力していこうという気持ちが芽生えるのでは・・・。

→ 学級、学年の実態に合わせ、家庭でのお手伝いの呼びかけをしております。ご家庭の方でも、子どもたちにそれぞれ役割をもたせ、充実した日々が過ごせるようご配慮下さい。